

＜先週の説教から＞

『詩編 37-B - 地を継ぐ者へと』

武田真治牧師

詩編 37:18-40 ヨハネ黙示録 21:1-8

この詩編37編は、最初のカッコの中に(アルファベットによる詩)とありますように、2節づつ、節の頭にヘブライ語のアルファベット 22文字が順番に出てきます。1節はアーラー(ℵ=アレフ)から、3節はベテハー(ו=ベート)、5節がガーラル(ג=ギメル)というように。ただ、途中で1節で一文字の節があり、合計では40節になっています。

今日はその後半ですが、2つのテーマがあります。両方とも最初の18節に出ています。即ち「無垢な人の生涯を主は知っていてくださる。彼らとはこしえに嗣業を持つであろう。」です。最初は①「嗣業を持つ」です。嗣業(ナハラル)とは(受け継ぐ物)という意味で、相続する土地や財産のことです。22節や29節等の「地を継ぐ」と同じです。「とこしえの嗣業」と言われると、私たちキリスト者はすぐ天のみ国のことを思い浮かべますが、それだけでなくこの地上でも神様からの恵みとして、信仰者が与えてもらえる祝福があるという意味も含まれています。そのこともまた期待しているのだと。問題はなぜ神様は私たちにそのように計らってくださるのかという点で、それが次の19節「災いが降りかかって、うろたえることなく、飢饉が起こっても飽き足りていられる」ためだと。これはこの世を生きる際に必要な“心の定まり”を持たせるためであり、更に24節「人は倒れても、打ち捨てられるのではない」ことを信じるためだと。天のみ国への望みだけで生きることは厳しく、挫けてしまうから主の配慮として「嗣業を持つ」ようにしてくださるのですね。

そしてもう一つ、その条件のように語られている点が2点目の②「無垢な人の生涯を主は知って」です。この無垢な人(ターミム)とは、ヨブ記のヨブが「無垢(ターム)で正しい(ツァーディク)人」と、創世記のノアも「無垢な人(ターミム)」と呼ばれているように、間違いを起こさない人ではなく、悪に染まろうとせず、人からばかにされても一筋に

神様を信じようとする無邪気さを持つ人です。それが「主の慈しみに生きる人を見捨てることなく」や「主に望みをおき、主の道を守れ、主はあなたを高く上げて、地を継がせてくださる」等と言われている“人”のことだと読めます。

それ故に「無垢であろうと努め、まっすぐ見ようとせよ。平和な人には未来がある」(37節)とも教えられています。私たちキリスト者の“この世での生き方”を指し示す言葉と言い得ます。ここで「無垢であること」は「努力」が必要だと指摘されています。この世を長く生きると、世の中に擦れ、世俗的になります。「無垢」さを維持することは難しいと。維持するには「まっすぐに見る」こと(=世界をはすかいいに見て評論家気取りで生きるのではなく)と「平和の人」として生きることが大事だと。それが「未来」を拓くのだと！

【今週の集会】

*聖書研究・祈祷会 I. 11月8日(水) 20:00
II. 11月9日(木) 10:30

聖書: ハイデルベルク信仰問答

祈祷主題: 関東教区を覚えて

担当者: (水) 村上 (木) 勝村

祈りに覚える人: 高橋さん 高村さん

【教勢報告】

主日礼拝 男 21 女 61 計 82

祈祷会 I. 男 6 女 3 計 9 II. 男 1 女 8 計 9

日曜学校 幼稚科 6 小中科 7 計 13

*教会バザー(11月3日) 参加者 185 (子どもを含む)

【次週主日礼拝】 11月 12日(日)

聖書: ミカ 4:7~14

マタイによる福音書 23:37~39

説教: 「ミカ⑨ - それなのに、今」

武田真治牧師

讃美歌: 17(1)、32、289(1~3)、201(1~4)、444(1~3)、29(1)

【次週当番表】

司式: 飯田長老 奏楽: 羽倉 礼拝: 齋藤長老

献金: 羽倉摩紀子 藤林真菜 受付: 鈴木正江 橋本啓子

会堂準備: 飯島 岡本 金刺 中村

森本博子

看板: 岩佐 週報: 金刺 お花: 茨木

【次週集会予定】

礼拝前: ・求道者会 ・聖書輪読会

礼拝後: ・牧師と語る会 ・お茶の会 ・長老会

・壮年/婦人/ダビデ 各会 ・聖歌隊練習

週報

2023年度 教会標語

「礼拝に集おう！主に癒され、整えられて」

2023年 11月 5日

日本キリスト教団 上尾合同教会

牧師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33

TEL&FAX 048-771-6549

<http://www.ageo-church.org/>